

旬の野菜は本当に安い？

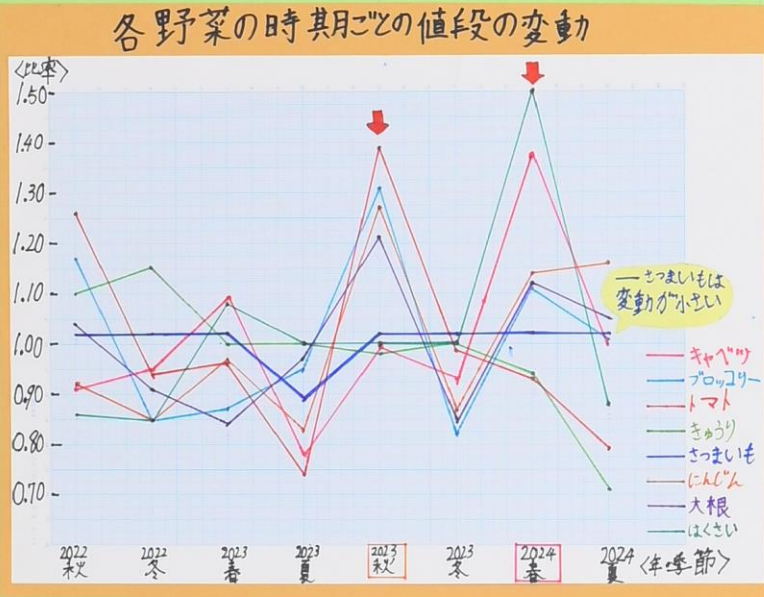
旬とは⇒野菜などが多く出まわり味のもっともよい時期のこと



旬の時期はたくさん収められてくるから値段も安くなっていると思うけれど本当にそうなのか調べてみました！

調査方法

2022年10月～2024年7月の其月間、スーパーで売っている8種類の野菜の値段を平均月3回調べた。その平均の値段を算出し、平均値を1.00とした時の季節ごとの変動力をグラフに表した。



<野菜の種類> ()は旬の季節

キャベツ(春)、ブロッコリー(春)、トマト(夏)、きゅうり(夏)
さつまいも(秋冬)、にんじん(秋冬)、大根(冬)、はくさい(冬)

<季節>

春⇒3月4月5月 夏⇒6月7月8月

秋⇒9月10月11月 冬⇒12月1月2月

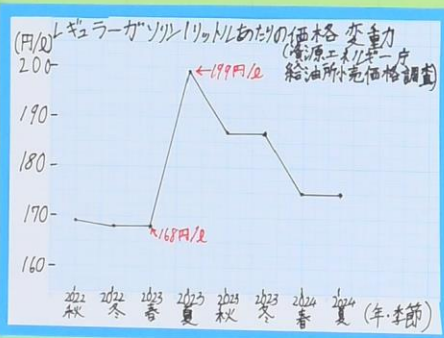
気になったこと

- 旬の時期が必ずしも安くなっているとは限らない
グラフでは2023年秋と2024年春に2つのピークがある(↓グラフ)
- さつまいもだけ季節による変動力がほとんどなかった。

気になったことについて考えてみた

- 2つのピーク(2023秋、2024春)の理由⇒野菜の値段に最も影響するものとして輸送費用と天候について調べた

★輸送費用(ガソリン価格)について



★天候について

	2023 冬	2024 春
気温	高い	高い(ただし3月に寒波あり)
降水量	少ない	多い
降雪量	特に少ない	
日照時間	多い	少ない

国土交通省 気象庁 H.P.より

- 2023年冬は暖冬で野菜の生育が早くなり、春野菜の収穫が早くなり本来の春の収穫量が少なくなった。
 - 2024年春の寒波や雨や曇りで日照時間が少なくなり生育が遅れた。
- ⇒2024年春は野菜の生産量が少なくなり値段が上がった。

- さつまいもの値段の変動が小さい理由についてスーパーの店員さんに質問した。

- さつまいもは暑さや乾燥に強く比較的育てやすいこと
 - 品種改良などで育てやすい品種が増えたことなど
- ⇒生産量が安定して値段変動が小さくなったと考えられた。

まとめ

- 旬の時期だからといって必ずしも野菜の値段が安くなっているわけではない。
- 輸送費用や天候などで値段は変動しているが品種改良などで生産方法の工夫で値段が一定に保てている野菜もある。
- 野菜の値段は色々な要因が合わさって決まっている。



野菜の値段はいろいろな要因が合わさって決まっていることがわかりました。これからはいろいろな野菜をたいいんに食べていきたいです。